

令和元年度 食の安全・安心に関する施策

北海道食の安全・安心条例

北海道食の安全・安心基本計画

第1

食の安全・安心  
のための基本的  
施策の推進

情報の提供、食品等  
の検査及び監視など

- 1 食の安全・安心条例推進費【農政部】
- 2 食品衛生検査費【保健福祉部】
- 3 牛海綿状脳症検査費【保健福祉部】
- 4 食品衛生監視費、乳肉及び水産食品衛生指導費【保健福祉部】
- 5 緊急海水・水産物モニタリング調査事業費【水産林務部】

第2

安全で安心な食  
品の生産及び供  
給

食品の衛生管理の推  
進、農水産物等の安  
全及び安心の確保など

- 6 GAP(農業生産工程管理)実践レベルアップ事業費【農政部】
- 7 HACCP推進対策費【保健福祉部】
- 8 環境保全型農業総合推進事業費【農政部】
- 9 環境保全型農業直接支援対策事業費【農政部】
- 10 家畜衛生指導推進費【農政部】
- 11 北海道酪農・畜産の日EU・EPA等グローバル化対策事業費【農政部】

第3

道民から信頼さ  
れる表示及び認  
証の推進

適正な食品表示の推  
進など

- 12 公正取引推進費、物価・消費生活モニター運営費【環境生活部】
- 13 食品表示適正化対策事業費【環境生活部】
- 14 米産地育成総合対策事業費【農政部】
- 15 きらりっぷ普及拡大事業費【農政部】
- 16 道産食品全国モニター運営費【農政部】

第4

情報及び意見の  
交換、相互理解  
の促進等

食育及び地産地消の  
推進など

- 17 北の大地のめぐみ愛食総合推進事業費【農政部】
- 18 どさんこ食育推進総合事業費【教育庁】
- 19 米産地育成総合対策事業費(再掲)【農政部】
- 20 道産小麦商品の競争力強化促進事業費【農政部】
- 21 道産水産物魚食普及推進事業費【水産林務部】
- 22 6次産業化ネットワーク活動事業費【農政部】
- 23 地方創生対策推進費【経済部】

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考																								
1	食の安全・安心条例 推進費 【農政部】  〔食の安全・安心 推進費のうち〕	2,947 (2,947)	3,092 (3,092)	<p>1 目的 北海道食の安全・安心条例に基づき、学識経験者、消費者及び生産者等を構成員とする「北海道食の安全・安心委員会」を知事の附属機関として設置し、幅広い道民の意見を施策に反映し、食の安全・安心の確保に関する取組を積極的に推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食の安全・安心委員会運営費</td> <td>・安全・安心の確保に関する重要事項の調査審議</td> <td>1,196 (1,196)</td> </tr> <tr> <td>食のリスクコミュニケーション開催費</td> <td>・食の安全・安心委員会が設定したテーマについて、情報提供や意見交換の実施</td> <td>346 (346)</td> </tr> <tr> <td>食の安全・安心委員会専門部会運営費</td> <td>・遺伝子組換え作物の栽培に関して、科学的な見地から一般作物との交雑、混入防止措置に関する調査審議</td> <td>427 (427)</td> </tr> <tr> <td>遺伝子組換え作物モニタリング検証費</td> <td>・遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査</td> <td>463 (463)</td> </tr> <tr> <td>食の安全・安心調査検討費</td> <td>・食の安全・安心に関する調査・検討</td> <td>515 (515)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	食の安全・安心委員会運営費	・安全・安心の確保に関する重要事項の調査審議	1,196 (1,196)	食のリスクコミュニケーション開催費	・食の安全・安心委員会が設定したテーマについて、情報提供や意見交換の実施	346 (346)	食の安全・安心委員会専門部会運営費	・遺伝子組換え作物の栽培に関して、科学的な見地から一般作物との交雑、混入防止措置に関する調査審議	427 (427)	遺伝子組換え作物モニタリング検証費	・遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査	463 (463)	食の安全・安心調査検討費	・食の安全・安心に関する調査・検討	515 (515)							
区分	事業内容	予算額																											
食の安全・安心委員会運営費	・安全・安心の確保に関する重要事項の調査審議	1,196 (1,196)																											
食のリスクコミュニケーション開催費	・食の安全・安心委員会が設定したテーマについて、情報提供や意見交換の実施	346 (346)																											
食の安全・安心委員会専門部会運営費	・遺伝子組換え作物の栽培に関して、科学的な見地から一般作物との交雑、混入防止措置に関する調査審議	427 (427)																											
遺伝子組換え作物モニタリング検証費	・遺伝子組換え作物栽培者のほ場及び周辺における現地調査	463 (463)																											
食の安全・安心調査検討費	・食の安全・安心に関する調査・検討	515 (515)																											
2	食品衛生検査費 【保健福祉部】  〔食品安全対策費 のうち〕	105,505 (98,091)	106,691 (98,161)	<p>1 目的 食品等の安全を確保するため、食品衛生法に基づく規格基準等について検査を行い、不良な食品等を排除することにより、食品衛生の向上を図る。 また、食品衛生検査施設にG L P（業務管理基準）の運用に必要な整備を行うことにより、検査業務の適切な管理を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>実施機関</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学物質等対策</td> <td>・食品衛生法に基づく規格基準等（食品添加物、残留農薬等）について検査を実施</td> <td>保健所、衛生研究所等</td> <td>60,006 (53,173)</td> </tr> <tr> <td>道内食品安全対策調査事業</td> <td>・食品衛生法に基づく規格基準等（環境汚染物質）について検査を実施</td> <td>衛生研究所</td> <td>501 (501)</td> </tr> <tr> <td>遺伝子組換え食品検査</td> <td>・輸入農産物を原料として製造される道内加工食品等について、遺伝子組換え食品の検査を実施</td> <td>衛生研究所</td> <td>6,636 (6,636)</td> </tr> <tr> <td>食品衛生検査施設信頼性確保事業</td> <td>・食品衛生法に基づく検査事務の管理（内部／外部制度管理等）</td> <td>北海道、外部検査機関</td> <td>37,781 (37,781)</td> </tr> <tr> <td>カネミ油症健康実態調査事業</td> <td>・「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」に基づく健康実態調査の実施</td> <td>北海道</td> <td>581 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	実施機関	予算額	化学物質等対策	・食品衛生法に基づく規格基準等（食品添加物、残留農薬等）について検査を実施	保健所、衛生研究所等	60,006 (53,173)	道内食品安全対策調査事業	・食品衛生法に基づく規格基準等（環境汚染物質）について検査を実施	衛生研究所	501 (501)	遺伝子組換え食品検査	・輸入農産物を原料として製造される道内加工食品等について、遺伝子組換え食品の検査を実施	衛生研究所	6,636 (6,636)	食品衛生検査施設信頼性確保事業	・食品衛生法に基づく検査事務の管理（内部／外部制度管理等）	北海道、外部検査機関	37,781 (37,781)	カネミ油症健康実態調査事業	・「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」に基づく健康実態調査の実施	北海道	581 (0)	
区分	事業内容	実施機関	予算額																										
化学物質等対策	・食品衛生法に基づく規格基準等（食品添加物、残留農薬等）について検査を実施	保健所、衛生研究所等	60,006 (53,173)																										
道内食品安全対策調査事業	・食品衛生法に基づく規格基準等（環境汚染物質）について検査を実施	衛生研究所	501 (501)																										
遺伝子組換え食品検査	・輸入農産物を原料として製造される道内加工食品等について、遺伝子組換え食品の検査を実施	衛生研究所	6,636 (6,636)																										
食品衛生検査施設信頼性確保事業	・食品衛生法に基づく検査事務の管理（内部／外部制度管理等）	北海道、外部検査機関	37,781 (37,781)																										
カネミ油症健康実態調査事業	・「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」に基づく健康実態調査の実施	北海道	581 (0)																										

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考									
3	牛海綿状脳症検査費 【保健福祉部】	9,793 (8,129)	12,334 (10,701)	<p>1 目的 道内9か所のと畜場において、搬入される牛及びめん羊・山羊を対象に牛海綿状脳症(BSE)検査を実施する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査機器整備</td> <td>フィルター交換、検査機器修理等</td> <td>5,242 (5,242)</td> </tr> <tr> <td>検査消耗品・ 検体送付</td> <td>検査キット、消耗品、検体送付</td> <td>4,551 (2,887)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 検査実施機関 道立食肉衛生検査所及び道立保健所</p>	区分	事業内容	予算額	検査機器整備	フィルター交換、検査機器修理等	5,242 (5,242)	検査消耗品・ 検体送付	検査キット、消耗品、検体送付	4,551 (2,887)	
区分	事業内容	予算額												
検査機器整備	フィルター交換、検査機器修理等	5,242 (5,242)												
検査消耗品・ 検体送付	検査キット、消耗品、検体送付	4,551 (2,887)												
4	食品衛生監視費、乳肉 及び水産食品衛生 指導費 【保健福祉部】  〔食品安全対策費 のうち〕	68,530 (10,572)	69,917 (10,572)	<p>1 目的 食品衛生法に基づき、監視指導計画を定め、食品関係施設を対象に食品衛生監視員による監視指導、製品等の収去及び検査、食品衛生指導などを行い、食品等の安全性を確保する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品衛生監視費</td> <td>・食品関係施設を対象に、食品衛生監視員による監視指導及び食中毒調査、食中毒予防対策</td> <td>36,956 (0)</td> </tr> <tr> <td>乳肉及び水産食品衛生指導費</td> <td>・食品衛生法に基づき監視指導及び収去を行い検査を実施</td> <td>31,574 (10,572)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	食品衛生監視費	・食品関係施設を対象に、食品衛生監視員による監視指導及び食中毒調査、食中毒予防対策	36,956 (0)	乳肉及び水産食品衛生指導費	・食品衛生法に基づき監視指導及び収去を行い検査を実施	31,574 (10,572)	
区分	事業内容	予算額												
食品衛生監視費	・食品関係施設を対象に、食品衛生監視員による監視指導及び食中毒調査、食中毒予防対策	36,956 (0)												
乳肉及び水産食品衛生指導費	・食品衛生法に基づき監視指導及び収去を行い検査を実施	31,574 (10,572)												

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考																
5	緊急海水・水産物 モニタリング調査 事業費 【水産林務部】  (水産物流通総合 対策事業費 のうち)	406 (406)	406 (406)	1 目的 福島第一原子力発電所の事故の発生により、放射性物質が海洋に放出されたことから、 海水・水産物モニタリング調査を実施し、道産水産物の安全・安心についてPRに努める。  2 内容  <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水検査</td> <td>                             ・検査場所：太平洋側3地点                              ・検査対象：海水                              ・検査回数：隔週(3定点×12回/年=36回)                         </td> <td rowspan="2">北海道</td> <td rowspan="2">406 (406)</td> </tr> <tr> <td>水産物検査</td> <td>                             ・検査場所：太平洋側3海域                              ・検査対象：アサリ、昆布、毛ガニ等16種                              ・検査回数：16種×3海域×2回/年=96回                         </td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	海水検査	・検査場所：太平洋側3地点 ・検査対象：海水 ・検査回数：隔週(3定点×12回/年=36回)	北海道	406 (406)	水産物検査	・検査場所：太平洋側3海域 ・検査対象：アサリ、昆布、毛ガニ等16種 ・検査回数：16種×3海域×2回/年=96回							
区分	事業内容	事業主体	予算額																		
海水検査	・検査場所：太平洋側3地点 ・検査対象：海水 ・検査回数：隔週(3定点×12回/年=36回)	北海道	406 (406)																		
水産物検査	・検査場所：太平洋側3海域 ・検査対象：アサリ、昆布、毛ガニ等16種 ・検査回数：16種×3海域×2回/年=96回																				
6	G A P (農業生産工程管理) 実践レベルアップ 事業費 【農政部】  (環境保全型農業総合 推進事業費のうち)	39,855 (256)	70,318 (320)	1 目的 国際水準の第三者認証GAP等の産地への円滑な導入を促進するため、地域の体制整備 と農業者等のGAP認証取得を支援する。  2 内容  <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普及啓発</td> <td>・GAP導入推進会議の開催</td> <td>北海道</td> <td>69 (69)</td> </tr> <tr> <td>指導体制整備</td> <td>                             ・国主催指導者育成研修会への派遣                              ・普及指導員実践研修会の開催                         </td> <td>北海道</td> <td>251 (251)</td> </tr> <tr> <td>国際水準認証の 取組拡大</td> <td>                             ・国際水準GAP産地指導者養成講座                              ・国際水準GAP農業者等研修会                              ・JGAP指導員基礎研修                              ・GAP認証取得に対する補助                         </td> <td>北海道 ※補助金は 農業者等</td> <td>39,599 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	普及啓発	・GAP導入推進会議の開催	北海道	69 (69)	指導体制整備	・国主催指導者育成研修会への派遣 ・普及指導員実践研修会の開催	北海道	251 (251)	国際水準認証の 取組拡大	・国際水準GAP産地指導者養成講座 ・国際水準GAP農業者等研修会 ・JGAP指導員基礎研修 ・GAP認証取得に対する補助	北海道 ※補助金は 農業者等	39,599 (0)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																		
普及啓発	・GAP導入推進会議の開催	北海道	69 (69)																		
指導体制整備	・国主催指導者育成研修会への派遣 ・普及指導員実践研修会の開催	北海道	251 (251)																		
国際水準認証の 取組拡大	・国際水準GAP産地指導者養成講座 ・国際水準GAP農業者等研修会 ・JGAP指導員基礎研修 ・GAP認証取得に対する補助	北海道 ※補助金は 農業者等	39,599 (0)																		

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考												
7	H A C C P 推進対策費 【保健福祉部】  ( 食品安全対策費 のうち )	2,538 ( 936)	470 ( 470)	<p>1 目的 食品関係施設におけるHACCP（ハサップ）による自主衛生管理の導入を支援し、道産食品の安全性確保、衛生的付加価値の向上を図ることにより、道産食品に対する消費者の信頼を回復し、ブランド力の強化を図る。</p> <p>----- HACCP ----- HACCPとは、より安全な食品を提供するために考えられた食品の衛生管理システムで、食品の各製造工程ごとに人の健康に害を及ぼす可能性をチェックし、対策を立て、特に重要な工程について集中的に衛生管理を実施し、安全な食品をつくる方式。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認証制度の運営 ・普及啓発</td> <td>・HACCP推進ネットワーク会議における制度運営の協議検討 ・認証制度に係るパンフレットやガイドブックの作成</td> <td>470 ( 470)</td> </tr> <tr> <td>HACCP導入に係 る周知・指導</td> <td>・食品等事業者向け導入支援講習会の開催 ・HACCP制度化リーフレットの作成・配布 等</td> <td>2,088 ( 466)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	認証制度の運営 ・普及啓発	・HACCP推進ネットワーク会議における制度運営の協議検討 ・認証制度に係るパンフレットやガイドブックの作成	470 ( 470)	HACCP導入に係 る周知・指導	・食品等事業者向け導入支援講習会の開催 ・HACCP制度化リーフレットの作成・配布 等	2,088 ( 466)				
区分	事業内容	予算額															
認証制度の運営 ・普及啓発	・HACCP推進ネットワーク会議における制度運営の協議検討 ・認証制度に係るパンフレットやガイドブックの作成	470 ( 470)															
HACCP導入に係 る周知・指導	・食品等事業者向け導入支援講習会の開催 ・HACCP制度化リーフレットの作成・配布 等	2,088 ( 466)															
8	環境保全型農業 総合推進事業費 【農政部】	7,751 ( 5,461)	8,510 ( 6,220)	<p>1 目的 環境との調和に配慮したクリーン農業や有機農業の取組拡大を図るため、地域や関係団体と連携して生産技術の向上や、流通・消費の拡大等を総合的に推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選ばれる クリーン農産物 ブランディング 事業費</td> <td>・クリーン農業の取組のレベルアップに向けた研修会の開催 ・現地での技術普及に向けた現地実証ほの設置及び技術検討会の開催 ・消費者を対象としたクリーン農業の出前講座の開催や流通企業等への産地情報の提供</td> <td>北海道、 クリーン 農業推進 協議会</td> <td>4,100 ( 3,401)</td> </tr> <tr> <td>有機農業拡大 ステップアップ 事業費</td> <td>・普及指導員による有機農業生産者への技術指導 ・地域慣行農家の理解促進のための協議会開催 ・有機農業の経営指標の構築 ・有機導入に向けたマニュアル作成、講習会開催 ・生産者と実需者のマッチングイベントの開催</td> <td>北海道</td> <td>3,651 ( 2,060)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	選ばれる クリーン農産物 ブランディング 事業費	・クリーン農業の取組のレベルアップに向けた研修会の開催 ・現地での技術普及に向けた現地実証ほの設置及び技術検討会の開催 ・消費者を対象としたクリーン農業の出前講座の開催や流通企業等への産地情報の提供	北海道、 クリーン 農業推進 協議会	4,100 ( 3,401)	有機農業拡大 ステップアップ 事業費	・普及指導員による有機農業生産者への技術指導 ・地域慣行農家の理解促進のための協議会開催 ・有機農業の経営指標の構築 ・有機導入に向けたマニュアル作成、講習会開催 ・生産者と実需者のマッチングイベントの開催	北海道	3,651 ( 2,060)	
区分	事業内容	事業主体	予算額														
選ばれる クリーン農産物 ブランディング 事業費	・クリーン農業の取組のレベルアップに向けた研修会の開催 ・現地での技術普及に向けた現地実証ほの設置及び技術検討会の開催 ・消費者を対象としたクリーン農業の出前講座の開催や流通企業等への産地情報の提供	北海道、 クリーン 農業推進 協議会	4,100 ( 3,401)														
有機農業拡大 ステップアップ 事業費	・普及指導員による有機農業生産者への技術指導 ・地域慣行農家の理解促進のための協議会開催 ・有機農業の経営指標の構築 ・有機導入に向けたマニュアル作成、講習会開催 ・生産者と実需者のマッチングイベントの開催	北海道	3,651 ( 2,060)														

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考												
9	環境保全型農業 直接支援対策事業費 【農政部】	1,072,882 ( 350,000)	1,072,882 ( 350,000)	<p>1 目的 環境保全型農業を拡大・定着させるため、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動を実践する農業者の組織する団体等を支援する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全型農業 直接支払交付金</td> <td>・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する交付金の交付</td> <td>農業者の組織する団体等</td> <td>1,050,000 (350,000)</td> </tr> <tr> <td>推進費</td> <td>・道：市町村に対する指導・助言等 ・市町村：現地確認事務等</td> <td>北海道、市町村</td> <td>22,882 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	環境保全型農業 直接支払交付金	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する交付金の交付	農業者の組織する団体等	1,050,000 (350,000)	推進費	・道：市町村に対する指導・助言等 ・市町村：現地確認事務等	北海道、市町村	22,882 ( 0)	
区分	事業内容	事業主体	予算額														
環境保全型農業 直接支払交付金	・化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する交付金の交付	農業者の組織する団体等	1,050,000 (350,000)														
推進費	・道：市町村に対する指導・助言等 ・市町村：現地確認事務等	北海道、市町村	22,882 ( 0)														
10	家畜衛生指導推進費 【農政部】	2,810 ( 2,810)	1,993 ( 0)	<p>1 目的 家畜衛生自衛防疫組織の育成・強化による健康な家畜の飼育並びに販売業者及び飼育動物診療施設等における動物用医薬品等の適正な取扱いを指導・監督することにより、家畜衛生業務の円滑な推進を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家畜自衛防疫 推進指導費</td> <td>・市町村自衛防疫組合等への現地指導 ・家畜衛生に係るリーフレットの配付 ・家畜衛生に係る検討会等の開催</td> <td>1,352 ( 0)</td> </tr> <tr> <td>動物用医薬品 指導監督費</td> <td>・動物用医薬品販売業の許可 ・高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可 ・動物用医薬品販売業者及び飼育動物診療施設への立入検査と指導・監督 ・動物薬事に関する打合せ会議 ・販売従事登録</td> <td>1,458 ( 0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	家畜自衛防疫 推進指導費	・市町村自衛防疫組合等への現地指導 ・家畜衛生に係るリーフレットの配付 ・家畜衛生に係る検討会等の開催	1,352 ( 0)	動物用医薬品 指導監督費	・動物用医薬品販売業の許可 ・高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可 ・動物用医薬品販売業者及び飼育動物診療施設への立入検査と指導・監督 ・動物薬事に関する打合せ会議 ・販売従事登録	1,458 ( 0)				
区分	事業内容	予算額															
家畜自衛防疫 推進指導費	・市町村自衛防疫組合等への現地指導 ・家畜衛生に係るリーフレットの配付 ・家畜衛生に係る検討会等の開催	1,352 ( 0)															
動物用医薬品 指導監督費	・動物用医薬品販売業の許可 ・高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可 ・動物用医薬品販売業者及び飼育動物診療施設への立入検査と指導・監督 ・動物薬事に関する打合せ会議 ・販売従事登録	1,458 ( 0)															

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考												
11	北海道酪農・畜産の 日EU・EPA等 グローバル化対策 事業費(関連分) 【農政部】  〔畜産振興総合対策 事業費のうち〕	1,280 (1,280)	1,280 (1,280)	<p>1 目的 日EU・EPA交渉の妥結など、国際情勢の変化に対応しうる、本道の酪農生産基盤を 早急に強化するため、「北海道酪農・肉用牛生産近代化計画」等の目標を前倒して達成す るための取組を行う。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">酪農生産基盤強化対策費</td> </tr> <tr> <td>草地植生改 善の推進</td> <td>・ほ場における効果的な強害雑草の防除対策の検討と技術の 普及</td> <td>1,280 (1,280)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	酪農生産基盤強化対策費			草地植生改 善の推進	・ほ場における効果的な強害雑草の防除対策の検討と技術の 普及	1,280 (1,280)				
区 分	事業内容	予算額															
酪農生産基盤強化対策費																	
草地植生改 善の推進	・ほ場における効果的な強害雑草の防除対策の検討と技術の 普及	1,280 (1,280)															
12	公正取引推進費、 物価・消費生活 モニター運営費 【環境生活部】  〔消費生活向上対策 事業費のうち〕	7,427 (7,427)	7,983 (7,983)	<p>1 目的 食品小売店等への立入検査の実施や事業者への指導を通じて、公正な取引の確保及び表 示等の適正化を図るとともに、消費生活モニターによる消費生活関連商品等の表示状況等 の調査により消費生活の安定・向上に資する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品表示 適正化対策費</td> <td>・食品表示法に基づき食品の品質表示に係る法令違反に対 し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う</td> <td>514 (514)</td> </tr> <tr> <td>不当景品類等 防止事務費</td> <td>・景品表示法に基づき不当表示に対し、事業者への立入検 査等を通じた、監視・指導を行う</td> <td>68 (68)</td> </tr> <tr> <td>物価、消費生活 モニター運営費</td> <td>・商品の価格及び需給動向並びに消費者保護基準等の遵守 状況の調査・監視を行う</td> <td>6,845 (6,845)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	食品表示 適正化対策費	・食品表示法に基づき食品の品質表示に係る法令違反に対 し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う	514 (514)	不当景品類等 防止事務費	・景品表示法に基づき不当表示に対し、事業者への立入検 査等を通じた、監視・指導を行う	68 (68)	物価、消費生活 モニター運営費	・商品の価格及び需給動向並びに消費者保護基準等の遵守 状況の調査・監視を行う	6,845 (6,845)	
区 分	事業内容	予算額															
食品表示 適正化対策費	・食品表示法に基づき食品の品質表示に係る法令違反に対 し、事業者への立入検査等を通じた、監視・指導を行う	514 (514)															
不当景品類等 防止事務費	・景品表示法に基づき不当表示に対し、事業者への立入検 査等を通じた、監視・指導を行う	68 (68)															
物価、消費生活 モニター運営費	・商品の価格及び需給動向並びに消費者保護基準等の遵守 状況の調査・監視を行う	6,845 (6,845)															

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考																				
13	食品表示適正化対策 事業費 【環境生活部】  (消費生活向上対策 事業費のうち)	2,595 (0)	3,261 (0)	<p>1 目的 食品表示の適正化を図るため、飲食店関係事業者に対する表示調査や景品表示法の普及啓発を行うとともに、専門電話「景品表示法ホットライン」による事業者からのメニュー表示等の相談等を受け付けるほか、食品表示制度等に関するセミナーを開催し、消費者と事業者の食品表示制度に関する意識の向上を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品表示調査・普及啓発等事業</td> <td>・飲食店関係事業者に対する調査、景品表示法の普及啓発 ・専門電話「景品表示法ホットライン」を設置</td> <td>737 (0)</td> </tr> <tr> <td>食品表示セミナー開催事業</td> <td>・食品表示法や景品表示法等の食品表示に関する制度に関するセミナーを開催</td> <td>1,858 (0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	食品表示調査・普及啓発等事業	・飲食店関係事業者に対する調査、景品表示法の普及啓発 ・専門電話「景品表示法ホットライン」を設置	737 (0)	食品表示セミナー開催事業	・食品表示法や景品表示法等の食品表示に関する制度に関するセミナーを開催	1,858 (0)												
区分	事業内容	予算額																							
食品表示調査・普及啓発等事業	・飲食店関係事業者に対する調査、景品表示法の普及啓発 ・専門電話「景品表示法ホットライン」を設置	737 (0)																							
食品表示セミナー開催事業	・食品表示法や景品表示法等の食品表示に関する制度に関するセミナーを開催	1,858 (0)																							
14	米産地育成 総合対策事業費 【農政部】	16,277 (16,277)	16,898 (16,898)	<p>1 目的 本道稲作農業の持続的な発展と経営の安定を図るため、北海道米の消費拡大や多様なニーズに対応した生産力の向上、低コスト・省力化生産の推進など需要に応じた米産地づくりや、直播栽培に適した品種の開発加速化、米の流通に関する米穀取扱業者等への指導・普及啓発など、米の生産、流通及び消費の各般にわたる総合的な対策を講ずる。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田農業元気づくり推進事業費</td> <td>・米麦生産技術講習会・研修会の開催 ・生産技術対策パンフレットの作成</td> <td>北海道 米麦改良協会</td> <td>1,000 (1,000)</td> </tr> <tr> <td>需要に応じたこめ産地づくり推進事業費</td> <td>・北海道米の消費拡大 ・多様な実需ニーズに対応した生産力の向上 ・低コスト・省力化生産技術の推進</td> <td>北海道、 北海道米 販売拡大 委員会</td> <td>4,561 (4,561)</td> </tr> <tr> <td>米政策改革対応水稲品種開発加速化事業費</td> <td>・直播栽培に適した水稲品種の開発・データ収集 ・DNAマーカーの利活用等による個体系統選抜</td> <td>北海道</td> <td>9,800 (9,800)</td> </tr> <tr> <td>米流通対策指導事業費</td> <td>・米穀取扱業者等への立入検査や巡回・指導 ・事業者に対する制度の普及啓発</td> <td>北海道</td> <td>916 (916)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	水田農業元気づくり推進事業費	・米麦生産技術講習会・研修会の開催 ・生産技術対策パンフレットの作成	北海道 米麦改良協会	1,000 (1,000)	需要に応じたこめ産地づくり推進事業費	・北海道米の消費拡大 ・多様な実需ニーズに対応した生産力の向上 ・低コスト・省力化生産技術の推進	北海道、 北海道米 販売拡大 委員会	4,561 (4,561)	米政策改革対応水稲品種開発加速化事業費	・直播栽培に適した水稲品種の開発・データ収集 ・DNAマーカーの利活用等による個体系統選抜	北海道	9,800 (9,800)	米流通対策指導事業費	・米穀取扱業者等への立入検査や巡回・指導 ・事業者に対する制度の普及啓発	北海道	916 (916)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																						
水田農業元気づくり推進事業費	・米麦生産技術講習会・研修会の開催 ・生産技術対策パンフレットの作成	北海道 米麦改良協会	1,000 (1,000)																						
需要に応じたこめ産地づくり推進事業費	・北海道米の消費拡大 ・多様な実需ニーズに対応した生産力の向上 ・低コスト・省力化生産技術の推進	北海道、 北海道米 販売拡大 委員会	4,561 (4,561)																						
米政策改革対応水稲品種開発加速化事業費	・直播栽培に適した水稲品種の開発・データ収集 ・DNAマーカーの利活用等による個体系統選抜	北海道	9,800 (9,800)																						
米流通対策指導事業費	・米穀取扱業者等への立入検査や巡回・指導 ・事業者に対する制度の普及啓発	北海道	916 (916)																						

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考						
15	きらりっぶ普及拡大 事業費 【農政部】  (食の安全・安心 推進費のうち)	447 (447)	447 (447)	1 目的 道産食品に対する消費者の信頼の確保と北海道ブランドの向上を図ることを目的として、平成16年度から実施している道産食品独自認証制度(愛称：きらりっぶ)の円滑な運営と普及推進を図ることとする。  2 内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>きらりっぶ 普及拡大事業</td> <td>・道産食品独自認証制度運営懇談会の開催 ・運営方法の検討</td> <td>447 (447)</td> </tr> </tbody> </table> 3 事業主体 北海道	区分	事業内容	予算額	きらりっぶ 普及拡大事業	・道産食品独自認証制度運営懇談会の開催 ・運営方法の検討	447 (447)	
区分	事業内容	予算額									
きらりっぶ 普及拡大事業	・道産食品独自認証制度運営懇談会の開催 ・運営方法の検討	447 (447)									
16	道産食品全国 モニター運営費 【農政部】  (食の安全・安心 推進費のうち)	248 (248)	248 (248)	1 目的 北海道ブランドの向上と一般の消費者に信頼される道産食材の生産、流通の実現を目的として、日常の買い物を通じ道産食材の表示をチェックするとともに、意見等を提言する道産食品全国モニターを全国の都府県に配置する。  2 内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道産食品全国 モニター運営費</td> <td>・道産食品の表示をチェックする道産食品全国モニターを全都府県に配置し、表示状況の調査や違反事例に対応</td> <td>248 (248)</td> </tr> </tbody> </table> 3 事業主体 北海道	区分	事業内容	予算額	道産食品全国 モニター運営費	・道産食品の表示をチェックする道産食品全国モニターを全都府県に配置し、表示状況の調査や違反事例に対応	248 (248)	
区分	事業内容	予算額									
道産食品全国 モニター運営費	・道産食品の表示をチェックする道産食品全国モニターを全都府県に配置し、表示状況の調査や違反事例に対応	248 (248)									

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考																			
17	北の大地のめぐみ愛食 総合推進事業費 【農政部】	71,268 (15,913)	48,998 (17,491)	<p>1 目的 安全・安心な道産食品の消費拡大や健康で豊かな食生活の実現を図るため、地産地消、食育などの取組を愛食運動として総合的に進める。 また、H32に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、選手村等で提供される飲食に道産食材を供給するための体制構築を行う。 さらに、輸出に向けた課題解決に取り組む積極的な産地を支援するとともに、「北海道ブランド」を最大限に生かしながら、農畜産物と水産物をトータルでPRすることにより、海外における道産農水産物の販路を拡大する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どさんこ食育 推進事業費</td> <td>・優良活動表彰 ・食育推進ネットワーク会議の開催 ・食育講座、体験教室の開催 ・食品ロスセミナーの開催 ・市町村等の食育の取組に対する支援</td> <td>北海道、 市町村等</td> <td>34,029 (2,674)</td> </tr> <tr> <td>オリンピック・ パラリンピック 道産農水産物等 供給体制構築 事業費</td> <td>・各種情報収集、セミナーへの参加 ・供給可能産地調査の実施</td> <td>北海道、</td> <td>6,338 (6,338)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">道産農畜産物 輸出総合 対策事業費</td> <td>・商社等への輸出状況や海外展開のニーズ把握 ・国内の商談会への出展、生産現場へのパイヤー招へい</td> <td>北海道、 農畜産物・ 水産物海外 市場開拓 推進協議会 等</td> <td>4,174 (4,174)</td> </tr> <tr> <td>・産地形成推進会議の開催 ・海外ニーズによる機会ロスの解消、輸出国の規制基準への対応、生産者同士の連携強化など、課題となる問題を一体的な解消に取り組む産地への支援</td> <td>北海道、 農林業業 者が組織 する団体、 民間事業 者等</td> <td>26,727 (2,727)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	どさんこ食育 推進事業費	・優良活動表彰 ・食育推進ネットワーク会議の開催 ・食育講座、体験教室の開催 ・食品ロスセミナーの開催 ・市町村等の食育の取組に対する支援	北海道、 市町村等	34,029 (2,674)	オリンピック・ パラリンピック 道産農水産物等 供給体制構築 事業費	・各種情報収集、セミナーへの参加 ・供給可能産地調査の実施	北海道、	6,338 (6,338)	道産農畜産物 輸出総合 対策事業費	・商社等への輸出状況や海外展開のニーズ把握 ・国内の商談会への出展、生産現場へのパイヤー招へい	北海道、 農畜産物・ 水産物海外 市場開拓 推進協議会 等	4,174 (4,174)	・産地形成推進会議の開催 ・海外ニーズによる機会ロスの解消、輸出国の規制基準への対応、生産者同士の連携強化など、課題となる問題を一体的な解消に取り組む産地への支援	北海道、 農林業業 者が組織 する団体、 民間事業 者等	26,727 (2,727)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																					
どさんこ食育 推進事業費	・優良活動表彰 ・食育推進ネットワーク会議の開催 ・食育講座、体験教室の開催 ・食品ロスセミナーの開催 ・市町村等の食育の取組に対する支援	北海道、 市町村等	34,029 (2,674)																					
オリンピック・ パラリンピック 道産農水産物等 供給体制構築 事業費	・各種情報収集、セミナーへの参加 ・供給可能産地調査の実施	北海道、	6,338 (6,338)																					
道産農畜産物 輸出総合 対策事業費	・商社等への輸出状況や海外展開のニーズ把握 ・国内の商談会への出展、生産現場へのパイヤー招へい	北海道、 農畜産物・ 水産物海外 市場開拓 推進協議会 等	4,174 (4,174)																					
	・産地形成推進会議の開催 ・海外ニーズによる機会ロスの解消、輸出国の規制基準への対応、生産者同士の連携強化など、課題となる問題を一体的な解消に取り組む産地への支援	北海道、 農林業業 者が組織 する団体、 民間事業 者等	26,727 (2,727)																					

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考																				
18	<p>どさんこ食育推進 総合事業費 【教育庁】</p> <p>(学校給食普及指導 費のうち)</p>	12,537 (0)	12,281 (0)	<p>1 目的 児童生徒が正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自ら健康管理ができるよう、学校・家庭・地域が一体となって食育を推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つながる食育 推進事業</td> <td>・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、実践的な食育を推進する。 ・保護者も活動に参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する。</td> <td>6,348 (0)</td> </tr> <tr> <td>社会的課題に対応 するための学校給 食の活用事業</td> <td>・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する。</td> <td>6,189 (0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区 分	事業内容	予算額	つながる食育 推進事業	・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、実践的な食育を推進する。 ・保護者も活動に参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する。	6,348 (0)	社会的課題に対応 するための学校給 食の活用事業	・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する。	6,189 (0)												
区 分	事業内容	予算額																							
つながる食育 推進事業	・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、実践的な食育を推進する。 ・保護者も活動に参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する。	6,348 (0)																							
社会的課題に対応 するための学校給 食の活用事業	・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する。	6,189 (0)																							
19	<p>米産地育成 総合対策事業費 【農政部】</p> <p>(再掲)</p>	16,277 (16,277)	16,898 (16,898)	<p>1 目的 本道稲作農業の持続的な発展と経営の安定を図るため、北海道米の消費拡大や多様なニーズに対応した生産力の向上、低コスト・省力化生産の推進など需要に応じた米産地づくりや、直播栽培に適した品種の開発加速化、米の流通に関する米穀取扱業者等への指導・普及啓発など、米の生産、流通及び消費の各般にわたる総合的な対策を講ずる。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田農業元気 づくり推進事業費</td> <td>・米麦生産技術講習会・研修会の開催 ・生産技術対策パンフレットの作成</td> <td>北海道 米麦改良協会</td> <td>1,000 (1,000)</td> </tr> <tr> <td>需要に応じた こめ産地づくり 推進事業費</td> <td>・北海道米の消費拡大 ・多様な実需ニーズに対応した生産力の向上 ・低コスト・省力化生産技術の推進</td> <td>北海道、 北海道米 販売拡大 委員会</td> <td>4,561 (4,561)</td> </tr> <tr> <td>米政策改革対応 水稻品種開発 加速化事業費</td> <td>・直播栽培に適した水稻品種の開発・データ収集 ・DNAマーカーの利活用等による個体系統選抜</td> <td>北海道</td> <td>9,800 (9,800)</td> </tr> <tr> <td>米流通対策 指導事業費</td> <td>・米穀取扱業者等への立入検査や巡回・指導 ・事業者に対する制度の普及啓発</td> <td>北海道</td> <td>916 (916)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	事業内容	事業主体	予算額	水田農業元気 づくり推進事業費	・米麦生産技術講習会・研修会の開催 ・生産技術対策パンフレットの作成	北海道 米麦改良協会	1,000 (1,000)	需要に応じた こめ産地づくり 推進事業費	・北海道米の消費拡大 ・多様な実需ニーズに対応した生産力の向上 ・低コスト・省力化生産技術の推進	北海道、 北海道米 販売拡大 委員会	4,561 (4,561)	米政策改革対応 水稻品種開発 加速化事業費	・直播栽培に適した水稻品種の開発・データ収集 ・DNAマーカーの利活用等による個体系統選抜	北海道	9,800 (9,800)	米流通対策 指導事業費	・米穀取扱業者等への立入検査や巡回・指導 ・事業者に対する制度の普及啓発	北海道	916 (916)	
区 分	事業内容	事業主体	予算額																						
水田農業元気 づくり推進事業費	・米麦生産技術講習会・研修会の開催 ・生産技術対策パンフレットの作成	北海道 米麦改良協会	1,000 (1,000)																						
需要に応じた こめ産地づくり 推進事業費	・北海道米の消費拡大 ・多様な実需ニーズに対応した生産力の向上 ・低コスト・省力化生産技術の推進	北海道、 北海道米 販売拡大 委員会	4,561 (4,561)																						
米政策改革対応 水稻品種開発 加速化事業費	・直播栽培に適した水稻品種の開発・データ収集 ・DNAマーカーの利活用等による個体系統選抜	北海道	9,800 (9,800)																						
米流通対策 指導事業費	・米穀取扱業者等への立入検査や巡回・指導 ・事業者に対する制度の普及啓発	北海道	916 (916)																						

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考														
20	道産小麦商品の競争力強化促進事業費 【農政部】  (畑作物生産改善対策費のうち)	2,400 (2,400)	3,000 (3,000)	<p>1 目的 海外・道外の小麦商品に対して競争力を有する道産小麦商品づくりを推進するため、良質な道産小麦の生産量を拡大する取組や、商品力を高める取組を実施し、更なる地産地消と農業・農村の所得向上につなげる</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産対策</td> <td>・振興局毎に、地域の実情を踏まえた生産拡大の取組を推進 ・振興局の取組の情報共有</td> <td>北海道</td> <td>800 (800)</td> </tr> <tr> <td>流通・付加価値向上対策</td> <td>・パン・スイーツ・パスタを中心に、セミナー・新商品発表会等を実施し、啓発、新商品の開発を行う</td> <td>北海道</td> <td>1,600 (1,600)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	生産対策	・振興局毎に、地域の実情を踏まえた生産拡大の取組を推進 ・振興局の取組の情報共有	北海道	800 (800)	流通・付加価値向上対策	・パン・スイーツ・パスタを中心に、セミナー・新商品発表会等を実施し、啓発、新商品の開発を行う	北海道	1,600 (1,600)			
区分	事業内容	事業主体	予算額																
生産対策	・振興局毎に、地域の実情を踏まえた生産拡大の取組を推進 ・振興局の取組の情報共有	北海道	800 (800)																
流通・付加価値向上対策	・パン・スイーツ・パスタを中心に、セミナー・新商品発表会等を実施し、啓発、新商品の開発を行う	北海道	1,600 (1,600)																
21	道産水産物魚食普及推進事業費 【水産林務部】  (水産物流通総合対策事業費のうち)	2,311 (2,311)	2,311 (2,311)	<p>1 目的 道産水産物の魚価の安定化を図るため、道産水産物の学校等給食への導入や多様な魚食形態の創出を促進することにより、減少を続ける魚介類の消費量を回復させる。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魚食習慣定着促進</td> <td>・栄養士など学校給食等関係者へのPRや、学校給食等向け製品開発などの取組に対して支援</td> <td rowspan="2">漁業者団体</td> <td rowspan="2">2,100 (2,100)</td> </tr> <tr> <td>道産水産物普及促進</td> <td>・消費が増加傾向にある「外食」や「中食」に対する道産水産物の導入促進に向けた取組に対して支援</td> </tr> <tr> <td>現地指導</td> <td>・現地指導等</td> <td>北海道</td> <td>211 (211)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	魚食習慣定着促進	・栄養士など学校給食等関係者へのPRや、学校給食等向け製品開発などの取組に対して支援	漁業者団体	2,100 (2,100)	道産水産物普及促進	・消費が増加傾向にある「外食」や「中食」に対する道産水産物の導入促進に向けた取組に対して支援	現地指導	・現地指導等	北海道	211 (211)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																
魚食習慣定着促進	・栄養士など学校給食等関係者へのPRや、学校給食等向け製品開発などの取組に対して支援	漁業者団体	2,100 (2,100)																
道産水産物普及促進	・消費が増加傾向にある「外食」や「中食」に対する道産水産物の導入促進に向けた取組に対して支援																		
現地指導	・現地指導等	北海道	211 (211)																

食の安全・安心に関する主要事業の概要

(単位：千円)

番号	事業名	令和元年度 予算額 (一般財源)	平成30年度 当初予算額 (一般財源)	事業の概要	備考																
22	6次産業化ネットワーク 活動事業費 【農政部】	666,497 (1,219)	550,589 (1,326)	<p>1 目的 農林漁業者が流通業者・食品事業者等と連携して取り組む6次産業化を推進するため、「北海道6次産業化サポートセンター」を設置・運営するとともに、地域におけるネットワークづくりを進める。 また、農林漁業者等がネットワークを構築して取り組む新商品開発や加工・販売施設等の整備を支援する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サポート 事業費</td> <td>・6次産業化サポートセンターの設置・運営 ・関係機関が参画する6次産業化・地産地消推進協議会の開催</td> <td>北海道</td> <td>31,680 (0)</td> </tr> <tr> <td>ネットワークづくり 支援事業費</td> <td>・6次産業化の促進のため、各関係機関等で課題に対する具体的な支援策を検討 ・6次産業化プランナーによる経営方針等の講演や個別相談会の実施</td> <td>北海道</td> <td>1,055 (1,055)</td> </tr> <tr> <td>施設等整備 事業費</td> <td>・市町村6次産業化・地産地消戦略の策定、農林漁業者等による新商品開発・販路開拓、それらに必要な施設等の整備に対する支援</td> <td>農林漁業者等</td> <td>633,762 (164)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	事業主体	予算額	サポート 事業費	・6次産業化サポートセンターの設置・運営 ・関係機関が参画する6次産業化・地産地消推進協議会の開催	北海道	31,680 (0)	ネットワークづくり 支援事業費	・6次産業化の促進のため、各関係機関等で課題に対する具体的な支援策を検討 ・6次産業化プランナーによる経営方針等の講演や個別相談会の実施	北海道	1,055 (1,055)	施設等整備 事業費	・市町村6次産業化・地産地消戦略の策定、農林漁業者等による新商品開発・販路開拓、それらに必要な施設等の整備に対する支援	農林漁業者等	633,762 (164)	
区分	事業内容	事業主体	予算額																		
サポート 事業費	・6次産業化サポートセンターの設置・運営 ・関係機関が参画する6次産業化・地産地消推進協議会の開催	北海道	31,680 (0)																		
ネットワークづくり 支援事業費	・6次産業化の促進のため、各関係機関等で課題に対する具体的な支援策を検討 ・6次産業化プランナーによる経営方針等の講演や個別相談会の実施	北海道	1,055 (1,055)																		
施設等整備 事業費	・市町村6次産業化・地産地消戦略の策定、農林漁業者等による新商品開発・販路開拓、それらに必要な施設等の整備に対する支援	農林漁業者等	633,762 (164)																		
23	地方創生対策推進費のうち 【経済部】	74,484 (38,568)	209,817 (24,840)	<p>1 目的 道産食品の高付加価値化や販路拡大、人材育成等により、本道の食関連産業の競争力強化を図り、地域経済の活性化と雇用の創出につなげる。</p> <p>2 内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品製造業のマーケティング力 強化事業</td> <td>・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、地域食材を活用した商品を認定するとともに、認定商品のPR等を実施</td> <td>6,037 (3,085)</td> </tr> <tr> <td>成長市場向けマーケティング 支援事業</td> <td>・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、首都圏等の富裕層をターゲットとした相談会、商談会等を実施</td> <td>11,231 (6,301)</td> </tr> <tr> <td>北海道食のキープ アップ育成事業</td> <td>・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、食関連産業を牽引する人材を育成</td> <td>19,391 (10,269)</td> </tr> <tr> <td>食品製造業の研究・商品開発 推進事業</td> <td>・今後の成長が期待される食分野の市場獲得を図るため、食に関する研究体制を構築するとともに、商品開発の取組を促進</td> <td>37,825 (18,913)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業主体 北海道</p>	区分	事業内容	予算額	食品製造業のマーケティング力 強化事業	・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、地域食材を活用した商品を認定するとともに、認定商品のPR等を実施	6,037 (3,085)	成長市場向けマーケティング 支援事業	・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、首都圏等の富裕層をターゲットとした相談会、商談会等を実施	11,231 (6,301)	北海道食のキープ アップ育成事業	・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、食関連産業を牽引する人材を育成	19,391 (10,269)	食品製造業の研究・商品開発 推進事業	・今後の成長が期待される食分野の市場獲得を図るため、食に関する研究体制を構築するとともに、商品開発の取組を促進	37,825 (18,913)		
区分	事業内容	予算額																			
食品製造業のマーケティング力 強化事業	・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、地域食材を活用した商品を認定するとともに、認定商品のPR等を実施	6,037 (3,085)																			
成長市場向けマーケティング 支援事業	・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、首都圏等の富裕層をターゲットとした相談会、商談会等を実施	11,231 (6,301)																			
北海道食のキープ アップ育成事業	・道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、食関連産業を牽引する人材を育成	19,391 (10,269)																			
食品製造業の研究・商品開発 推進事業	・今後の成長が期待される食分野の市場獲得を図るため、食に関する研究体制を構築するとともに、商品開発の取組を促進	37,825 (18,913)																			